

益城の文化財

みずのかさん

水野頼山(土山)



肥後の三筆の一人、書家・水野頼山の書

明治初期から中期にかけての「肥後の三筆」の一人として近郷に聞こえた書家・水野頼山は、天保8(1837)年、小池村土山に生まれ、飯田山麓に住み、丸みを帯びた飯田山を愛することから雅号を「頼山」とした。

頼山の先祖は細川家の丹後以来の旧臣で家禄500石、九品寺大江に住み父貞義が分家した時に土山に移ったといわれる。頼山は幼少の頃より神童と言われ、10歳で「四書五経」を読破し、横井小楠の門下でもあった。

20歳から30歳の頃、土山に私塾を開き御船・木倉・高木・六嘉・木山など近在の子弟達に「四書五経」を教えた。また一時は、習書師として藩校であった時習館に招かれた後、郷里の土山に帰り再び子弟を導いた。明治5年に学制が發布され、^{しゅうかん}辺田見学校(現在の御船町)で教鞭をとった。明治8年、^{へたみ}辺田見学校教員を辞め、同年、砥川・小池^{えんりん}両村の有志によって小池村圓林に設置された圓林小学校(現在の飯野小の前身)に初代校長として3年余り赴任した。

その後は「^{そつ}率(卒)^{せいどう}性堂」という塾を開き、明治から大正にかけて幾多の人材を輩出した。その門下生には、後の飯野村の村長、明治天皇侍従職、大正天皇御養育係をした人物がいる。謹厳実直と評された頼山の教えは、門下生に大きく影響を与えた。

明治28年、59歳にて病死。墓は飯田山中腹にあり本土山部落の人々によって建てられた水野先生墓地参道の石碑が入口にある。冠石の正面には「頼山水野貞秀先生の墓」と書かれ、裏には碑文、門弟達の名前が刻まれている。

参考文献 『益城町史』『熊本県立図書館蔵書』『飯野小学校創立100年記念誌』

益城町文化財保護委員会

おたより紹介

- ☒ 孫4人が毎日来て、春休みは毎日、てんてこまいでした。 P.N アンパン
- ☒ 今年も桜がきれいに咲いてグラウンドの方に散歩に行き気持ちいいです。 宮園 中川千鶴子
- ☒ 木山城趾でお花見をしました。のんびりで春を満喫できました！ P.N さくら
- ☒ 木山弾正祭に広報をみて行ってきました。桜は大部分散っていて残念だったけど、のっぺい汁等なつかしい食べ物が売ってあって楽しかったです。木山城趾があるのも知らなかったの、益城にも色々な所があると知れてよかったです。 広崎 岩上史子
- ☒ わが家の子どもも卒業、入学と新しい生活に向かってスタートしたところです。小学時代の先生からありがたいお手紙をいただきました。「小さなつぼみもいつかふくらんで花開きます。自分らしく夢をもって前進してってください。ずっと応援しています」このメッセージを胸に一步一步、歩んでほしいと願います。 P.N パワー全開

わが家の天使



さとう かずま くん
佐藤 和磨 (福 富)

3月で1歳になりました。
たける兄ちゃん大好き♡
これからもたくさんあそんでね♪

パパ 英詔さん ママ いずみさん



もりしま ゆい ちゃん
盛島 由結 (惣領4町内)

3月1日で、1歳になりました！
2人のいにとねえね、みんなに可愛がってもらってます♡

パパ 孝泰さん ママ 有希さん